

# 稲・麦・果樹・野菜・花の 病害防除に!!



**散布 空散**  
**無人ヘリ**  
散布方法を選べる  
便利な  
**殺菌剤**

**ダウンウォッシュで  
薬剤が株元まで届く!!**



稲/いもち病



稲/紅変米



麦/赤かび病



大豆/紫斑病



やまのいも/葉潰病



たまねぎ/灰色腐敗病

殺菌剤

農林水産省登録 第14228号

# トップジンM<sup>®</sup> ゾル

チオファネートメチル水和剤 ■有効成分/チオファネートメチル…40.0% ■毒性/普通物 ■包装/500ml×20本、5Lポリ缶×4本

特長

- 広範囲の作物・病害の予防と治療に優れた効果を発揮します。
- 液剤なので薬剤の調製が簡単です。
- ヘリコプターなどで一度に大面積を空中散布でき、しかも、微量または、少量散布が可能なので、経済的です。



## ■適用病害と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数（制限）を示す。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用※ 時期	総使用回数※		使用方法
					本 剤	チオファネートメチル	
稲	いもち病	500~1,000	-	14日	3回	3回 [種子への 処理は1回]	散布
		原液	0.2				空中散布
		4	0.8				無人ヘリによる散布
	4~8	散布					
変色米 (エピコッカム菌)	500	-	散布				
小麦	雪腐大粒 菌核病	1,000	-	根雪前	3回	4回 [種子への処理は1回 散布及び無人ヘリ 散布は合計3回 出穂期以降は2回]	散布
		10	0.8	14日	2回		無人ヘリによる散布
	赤かび病	8					散布
		1,000~1,500	-	散布			
麦類 (小麦を除く)	赤かび病	1,500	-	14日	3回	3回 [種子への処理は1回 出穂期以降は1回]	散布
		8	0.8	21日	1回		無人ヘリによる散布
	雪腐大粒菌核病	10		根雪前			散布
やまのいも	葉洗病、炭疽病		3	7日	5回	5回	無人ヘリによる散布
だいず	紫斑病	5	0.8	14日	4回	4回 [種子への 処理は1回]	散布
		20~30					3
なす	菌核病						
きゅうり	菌核病、炭疽病	1,000			5回	6回 [種子への処理は1回 は後は5回]	散布
トマト	葉かび病、菌核病						
たまねぎ	灰色腐敗病	600~1,000		前日	3回	7回 [種子への処理は1回 苗根部浸漬は1回 無人ヘリ散布は3回 散布は5回]	散布
		5	0.8	無人ヘリによる散布			
		16	2.4	散布			
れんこん	褐斑病	20	3	75日	5回	5回	空中散布
みかん	そうか病		8	4~6月	5回	8回 [塗布は3回、散布・ 空中散布・無人ヘリ 散布は合計5回]	散布
		700~1,000	200~700	前日			無人ヘリによる散布
	1,000~2,000	10	散布				
	貯蔵病害 [青かび病 緑かび病 軸腐病]	20	10	散布			
	10	5	散布				
かんきつ (みかんを除く)		2,000	200~700	7日	8回 [塗布は3回 散布は5回]	散布	
もも	灰星病	700	-	前日	6回	10回 [塗布は3回 休眠期の散布は1回 生育期の散布は6回]	散布
おうとう	せん孔病	1,500	200~700	14日	3回	6回 [塗布は3回 散布は3回]	散布
ぶどう	黒とう病			落弁期 まで (60日)	6回 [塗布は3回 散布は3回]	散布	
ストック	菌核病						
ばら	黒星病	1,000	-	発病 初期	5回	5回	
プリムラ	灰色かび病						
シンビジウム	炭疽病						
ゆり	葉枯病						
きく	黒斑病、褐斑病			-			

## ▲効果・薬害等の注意

- 本剤の連続使用によって薬剤耐性菌が出現し、効果の劣るおそれがあるので、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて輪番で使用してください。
- ボルドー液・塩化銅などの無機銅剤との混用はさけてください。
- 本剤の使用に際しては容器をよく振ってから所定量を取り出し、水に入れよく攪拌して散布液を調整してください。
- 本剤は長時間放置すると沈殿を生ずることがありますが、振れば容易に元の状態に戻るため、必ず元の状態に戻してから使用してください。
- ぶどうには、生育前半の散布としてください。収穫間近の散布は、果粉の溶脱や果実の汚染を生じるおそれがあるので、さけてください。
- だいずの紫斑病に対しては、落花後~若実期に2~3回散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤を散布した稲わらは、家畜の飼料に使用しないでください。
- 本剤を大型散布機(ヘリコプターなど)で使用する場合は各散布機種別の散布基準に従って実施してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

## ▲安全使用上の注意

- 原液は眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。(刺激性)
- 本剤は皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。(弱い刺激性)
- 散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足・顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは、他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は、取り扱いに十分注意してください。

### 本剤を空中散布及び無人ヘリによる散布に使用する場合は次の注意を守ってください。

- ①微量散布(0.2ℓ/10a)及び少量散布(0.8ℓ/10a)の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
- ②無人ヘリコプターによる散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
- ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- ④微量散布の場合、他の農薬との混合は行わないでください。また少量散布の場合は特定の農薬(混合可能が確認されているもの)を除いて原則として他の農薬との混用は行わないでください。
- ⑤散布薬液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生ずるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- ⑥作業後は次の項目を守ってください。  
A. 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。  
B. 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者をきめて保管してください。  
C. 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

**保管** 密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

本剤を使用するときは ● 使用の際はラベルをよく読んでください。 ● 記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。

■ 空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。



## 日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号  
 ☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084  
 ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>  
 大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961  
 札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003  
 仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336  
 信越営業所 ☎(0255)81-2323 松山営業所 ☎(089)931-7315

本資料は、平成20年11月現在の登録内容に基づいています。